

ちょうふ環境にゆーす

未来へつなぐ調布の環境

発行：調布市環境部環境政策課

連絡先：電話 042-481-7086・7（直通） FAX 042-481-7550

email kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。

2020年12月
第42号

刊行物登録番号
2020-142

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



深大寺・佐須地域農業公園について

お知らせ

調布市の北部に位置する深大寺・佐須地域は、国分寺崖線の周辺に広がり「はげ」の豊かな湧水による用水路に沿って南北に生産緑地（農地）や屋敷林等が広がり、武蔵野の面影を残す農の風景を感じられる地域です。

調布市深大寺南町 1, 2, 4 丁目及び佐須町 4 丁目の

各一部を「農の風景育成地区」※に指定しました。深大寺・佐須地域を自然環境資源の保全・活用の重点地区として設定するとともに、今後、多くの市民が農と触れ合うことができる拠点として農業公園の開設を予定しています。

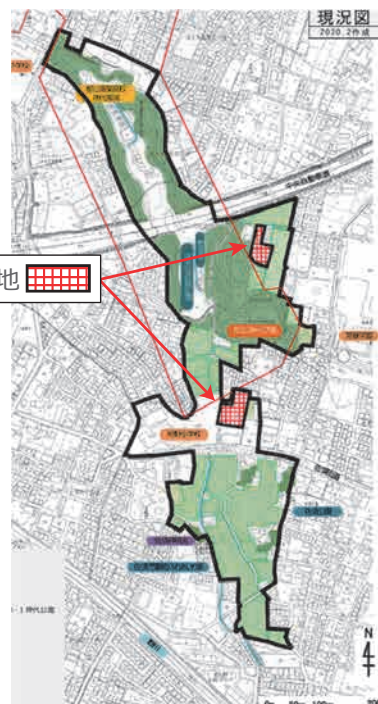
※「農の風景育成地区」とは、都市の貴重な農地を保全し、農のある風景を維持していくために東京都が創設した制度で、比較的まとまった農地や屋敷林が残る特色ある風景を形成している地区を指定するものです。



庭先直売所



農の風景育成地区 HP



農業公園予定地



里山風景



田んぼの風景

地域の農を通じた環境教育を推進するため、柏野小学校の児童の農業体験の機会場の場として、当該地を活用しています。

令和2年10月5日(月)には、小学校5年生がNPO 法人東京あぐりの指導のもと、稲刈りを行いました。収穫したお米は、小学校の給食などで提供される予定です。



「農の風景育成地区」で行われた小学生の稲刈り体験

雨水浸透ます設置

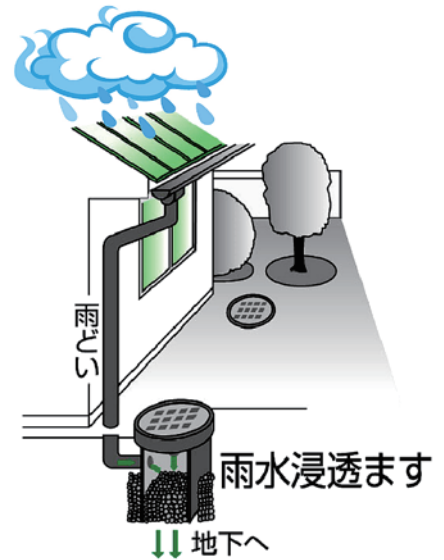
～局地的な豪雨対策と豊かな湧水のために～雨水浸透ますの設置にご協力ください～

お知らせ

雨水浸透ますとは、屋根に降った雨水を雨どいを通して集め、地下に浸透させるための設備です。これまで下水道に流していた雨水を地中に浸透させることにより、局地的な豪雨等の大雨時の浸水被害を軽減するとともに、湧水の復活、保全につなげ豊かな自然を回復することを目的とします。

雨水浸透ますの設置にあたっては、設置可否の下見を行います。設置工事は、半日～1日程度。設置後の所有及び管理は住宅所有者となります。

【設置費用／無料】



申込・問い合わせ先

調布市環境部環境政策課環境保全係

〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1

TEL : 042-481-7086 ~ 7

FAX : 042-481-7550

E-mail : kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

喫煙マナーアップ・ 受動喫煙防止キャンペーンを実施しました

活動報告

調布市では「調布市都市美化の推進に関する条例」において、たばこの吸い殻等ごみのポイ捨てを禁止するとともに、歩きたばこをしないように努めることとしています。また、「調布市受動喫煙防止条例」の規定により、市内各駅前やその周辺は、路上等喫煙禁止区域に指定し、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図ることとしています。

迷惑喫煙をなくし、喫煙マナーの向上と受動喫煙の防止を推進するため、11月13日～19日に喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーンを実施しました。

キャンペーン期間中は、市内各駅周辺で、朝の通勤時間にあわせ喫煙マナーを呼びかけ、清掃活動により都市美化の推進に努めました。

駅周辺の事業者、地域の皆様のご協力、誠にありがとうございました。



12月は地球温暖化防止月間です

お知らせ

11月のエコドライブ推進月間に続き、12月は地球温暖化防止月間です。国では、平成9年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)を契機として、毎年12月を「地球温暖化防止月間」としています。

地球温暖化をもたらす二酸化炭素(CO₂)は、オフィスや家庭などでエネルギーを消費することによって生じていて、特に冬は、暖房使用の増加などによって、

CO₂の排出が多くなります。

過度な暖房に頼らず、暖房時の室温を20℃(目安)で快適に過ごすライフスタイル、ウォームビズの実践などで、オフィスや家庭で地球温暖化防止に取り組ましましょう。ウォームビズの詳細は、環境省 COOL CHOICE ホームページをご覧ください。

WARM BIZ

ウォームビズ

調布市環境モニター

活動報告

調布の地形、植物、動物などを観察・調査し、市民と市が協働で調布の自然を守り、自然環境の保全に役立てて行くためのグループ活動です。会員募集中です。

第2回「土の環境調査」

令和2年7月11日(土)に5人の会員と3人のサポーター計8人が参加し、調布市多摩川自然情報館において、「土の環境調査」を行いました。

始めに「水の環境調査(プランクトン)」と土壌動物の共通性が「土」の持つ特性から生じることの講義を受けました。続いて、大型土壌動物を採集し、顕微鏡を使って観察し、動物群の同定を行い、標本を作製しました。

第2回「土の環境調査」採集大型土壌動物一覧

分類	種名
甲殻類	オカダンゴムシ
多足類	ワラジムシ / イシムカデ / ジムカデ
クモ類	アカザトウムシ / シモングモ / コモリグモ / カニグモ
昆虫類	トビムシ (トゲトビムシ科) / カメムシ (幼虫) (ツチカメムシ科) / ハネカクシ / マルガタゴミムシ / アズマオオズアリ / ハエ目 (幼虫) / ヒゲジロハサミムシ
環形動物	ミミズ
軟体動物	オカチョウジガイ / チャコウラナメクジ



調布子どもエコクラブ

活動報告

調布子どもエコクラブは、河川や緑地等の自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。

第2回「葉脈標本作り」

令和2年6月27日(土)に、調布市多摩川自然情報館において、ツバキ、ヒイラギ、キンモクセイの三種の葉脈標本作りを行いました。

標本を台紙に載せパウチをしてしおりを完成させました。参加者は葉肉を除去に苦戦していましたが、完成度の高さに、皆、大変感激していました。

第3回「泥染め体験」

令和2年8月22日(土)に、調布市多摩川自然情報館において、「泥染め体験」を行いました。

小笠原の赤土で泥水を作り、布の染色を行いました。また、同じように田んぼの荒木田、雑木林の土を使って布の染色を行いました。参加者は手を泥まみれにしながら、初めての染色を楽しく学んでいました。



コラム 秋・冬の多摩川

秋から冬にかけての多摩川は、ヨシが枯れて穂が白く輝いて見え、春から夏にかけての緑が目立つ風景から一変します。

10月に入ると、キンクロハジロやヒドリガモ、ユリカモメ、ツグミなどの冬鳥が河川敷にやって来ます。

カモのなかまが水面で休息している姿や、ツグミが草地で餌を探している姿を目にすることができます。



雑木林ボランティア講座

活動報告

調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民との協働で保全していくための基礎講座である、雑木林ボランティア講座を実施しています。

第1回 調布の過去と現状・佐須の里山観察

令和2年7月18日(土)に開講式を行いました。その後、調布の雑木林の過去と現状をテーマとした講義を行いました。佐須ふれあいの家から野川や佐須の田んぼ、深大寺自然広場までを講師やスタッフの解説を聞きながら里山観察を行いました。



第2回 雑木林の生態系(生き物・むし編)

令和2年9月5日(土)に雑木林の生態系について講義を行いました。土から樹木、動物の食物連鎖を学び、深大寺自然広場では普段見過ごしてしまうような昆虫などを見つけることができました。



「海ごみゼロウィーク 海ごみ問題について学ぼう」を開催しました。

活動報告

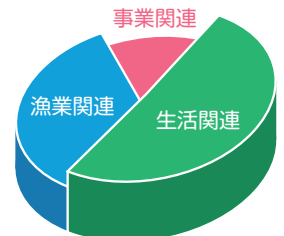
環境省と日本財団は共同で「海ごみゼロ」を合言葉に一斉清掃活動を推進しており、9月12日から9月19日までを、「秋の海ごみゼロウィーク」としています。

多摩川自然情報館では、9月13日(日)に多摩川自然情報館周辺のごみ拾いを行い、海に流出するごみの削減を実践しました。



コラム 海ごみは、どこからくるの？

海岸に打ち上げられたごみの種類は、『生活関連』『漁業関連』『事業関連』の大きく3つに分かれます。このうち、約半分を占めるのが『生活関連』で、私たちの生活で使われたレジ袋やペットボトルなどが数多く含まれます。ポイ捨てされたごみなどが風や雨によって川や水路などに流され、やがて海にたどりつきます。



調布市いきものフォトコンテスト2020 投票受付中!

お知らせ

令和2年12月20日(日)～令和3年2月14日(日)まで応募作品を調布市多摩川自然情報館内に展示し、来館者に投票をしていただきます。入賞作品は来館者の投票で決定します。

※詳細は調布市HPまたは募集要項をご覧ください。